

産 業

林業から観光の村へ。

山と生きている、土と生きている。檜枝岐村は、自然とともに生きている。

昭和30年代までは地場産業として林業が主流を占めていましたが、昭和48年の温泉湧出や道路整備が進められ、県内外からの

観光客が年々増加し、村の産業も林業に代わって観光産業が主流を占めるようになりました。

村では観光受入れ施設の整備を進めるとともに、若者の定住する魅力ある村づくりを積極的に推進し、地域の活性化事業に取り組んでいます。

林業は非常に厳しい状況下にあります。村営林産所の伝統産品として展示販売施設で販売し、内容の充実に取り組んでいます。

また養魚施設、そば加工施設、まいたけ生産施設、自然水加工施設等を整備し、新しい村の特産品づくりを積極的に進めています。

民間においては、檜の曲げ物、シャクシ、ハンゾウ等が手工業により生産販売されています。



木工展示販売所



●生活用品から民芸品へ

曲輪、ハンゾウ、ヒシャクなどの手作り木工品は、昔から生活必需品として各家庭で作られていましたが、今日ではお土産品として人気を得ています。



代表的な木工製品